

○3歳～4歳頃のこどもの様子

3歳～4歳の時期は、知的能力がぐんぐん伸び、見通しを持ち、工夫して遊ぶことが出来るようになります。手や指が器用になることにも助けられ、はさみやクレヨンなどの道具も使えるようになります。

「一人で遊ぶ」「大人と遊ぶ」だけでなく、「友達・仲間と一緒に遊ぶ」ことが始まります。「人と人の間で育つから“人間”」という言葉のとおり、社会的な存在になってくるのです。発育の様子に合わせて、無理なく自立の準備を進めていけると良いですね。

3歳頃の発達の様子

からだ

- ・両足ジャンプ
- ・三輪車
- ・足を交互で階段昇り
- ・低いところからジャンプ



ことば

- ・文章を話することができる
(3語文以上)
- ・「ぼく」「わたし」「～だから」
「～したら」などの表現が増える

手指の働き

- ・形にはならないが、画用紙などに絵を描く
- ・粘土でだんごなどをつくる
- ・はさみを使って切る
- ・スプーンを使う



社会性

- ・遊び相手を誘う
- ・「ごっこ遊び」をする
- ・日中おしっこが一人でできる



●日常の体験がこころを育てます

こどもの情緒は、普段の会話や体験の中で育っていきます。
何気ない毎日には、こころの栄養素がいっぱいです。



●生活のリズムは「朝・昼・夜」のリズムに合わせて



「早寝・早起き・朝ごはん」のリズムが心と体の健全な発達を促します。

●生活習慣のお手本は親・家族

こどもは周りを見ながら自立の仕方を学びとっています。
大人の生活を中心にしようとせず、こどもの発育にとって何が大切なのかを、
周りの大人がよく考えて行動すれば、こどもはよい生活習慣を身につけていきます。



●成長には個人差があります

どの子も自分のペースで成長しています。
身長や体重などには個人差が現れますが、他の子との違いを気にせず、
それぞれの育ちを見守りましょう。



毎日頑張っている、日常生活や遊び、お友達との関係など
成長に伴い、悩みは尽きないこともあります。
育児でお悩みのことがありましたら、いつでも当課まで
ご相談くださいね！！

